

# 福光中部小だより

令和7年12月22日

No.545



南砺市立福光中部小学校

E-mail es\_fukumitsuchubu@nanto.ed.jp

ホームページ

## 本物に触れて学び、育つ

教頭 横山 恵

2学期は、子供たちが本物の芸術文化に触れる機会が多くありました。

まず、PTA主催の学校コンサートの和太鼓演奏では、体育館中に響き渡る太鼓の迫力ある音に、子供たちは圧倒されました。代表児童がステージに上がり、様々な種類の太鼓を打つ姿を見て、会場でもバチを持ったつもりでリズム打ちを楽しむ姿もありました。また、クリスマスコンサートでは、ソプラノ歌手とフルート奏者による演奏を聴きました。本校の教諭もピアノを演奏したり歌を披露したりして、会場が盛り上がりました。さらに、1、3年生対象のインドネシアの影絵鑑賞会では、大きなスクリーンに映った影絵の世界に魅了され、その美しさに何度も歓声が上がりました。

こうした本物に触れる経験の積み重ねが、子供たちの感性を豊かにし、学びと成長を支えていくのだと、改めて感じています。

今年も残りわずかとなりました。校庭を吹き抜ける風も随分冷たくなりましたが、寒さを吹き飛ばすくらい元気いっぱいの子供たちの笑顔から、目前の冬休みを心待ちにしている様子が伝わってきます。

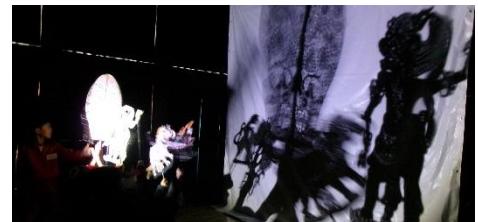
3学期も引き続き、よろしくお願ひいたします。



＜和太鼓演奏を体験する子供たち＞



＜コンサートの演奏を聴く子供たち＞



＜インドネシアの影絵鑑賞会（1・3年）＞

## 1月の行事予定



12月29日(月)～ 1月2日(金)	学校閉庁	20日(火)	スキー道具搬入②(4・6年)
8日(木)	3学期始業式 給食開始、書初大会	21日(水)	スキー教室(4・6年) スキー道具搬入①(3・5年)
9日(金)	身体視力測定(1・2・3年)	22日(木)	クラブ活動(3年見学) スキー道具搬入②(3・5年)
13日(火)	身体視力測定(4・6年) おはなし会(1の1)	23日(金)	スキー教室(3・5年)
14日(水)	身体視力測定 (5年、つくし・たんぽぽ・ひ まわり・すみれ・すまいる)	26日(月)	福光地区小中合同研修会(授業公開)
15日(木)	避難訓練(休憩時火災) 委員会活動 おはなし会(2年)	27日(火)	6年総合プログラミング学習
16日(金)	おはなし会(1の2)	29日(木)	クラブ活動(3年体験) アルミ缶回収
19日(月)	スキー道具搬入①(4・6年)	30日(金)	ファミリー読書・ズック洗い アルミ缶回収

## 全校のみんなに楽しんでもらうために

放送・給食委員会担当

今年度、放送委員会と給食委員会が一つの委員会になり、「放送・給食委員会」が発足しました。昨年度までのそれぞれの委員会が行っていた活動を協力して行っています。

毎日のお昼の放送では、給食の献立を紹介しています。それに加え、「全校のみんなに楽しんでもらいたい」という思いで、ハロウィン特集や先生クイズ等、季節に合わせた企画を考えています。また、1学期には、「給食後片付け強調週間」を実施し、箸や茶碗の片付け方をクラスごとにチェックし、よかったクラスを放送で紹介しました。

2学期の委員会ウィークでは、「放送体験&箱の中身は何でしょう？」を企画し、下級生に放送の仕方を優しく教えたり、箱の中に入れた食材を当てるゲームを通して、食材に興味をもってもらったりすることができました。

3学期は、給食に携わっている方に感謝の気持ちを伝える活動や、楽しくお昼の放送を聞いてもらうための企画を考えています。今後も、子供たちがよりよい活動を主体的に考え、実践できるようにしていきます。



＜放送体験で下級生に教える様子＞



## 世界に一つの自分だけの詩集を作ろう

4学年担任

4年2組の子供たちは、国語科で、「世界に一つの自分だけの詩集を作ろう」という学習を行いました。

11月初旬、フロアの「お気に入りの詩を見つけようコーナー」に、たくさんの詩集を並べておきました。子供たちは、国語科の授業だけでなく、休み時間も利用して、詩集を読んでいました。お気に入りの詩を見付けるポイントとして、「いいな」「面白い」「その気持ち、分かる」などの自分の気持ちや感覚を基にして選ぶとよいことを伝えました。

また、詩を選んだ理由を書くように助言しました。「くり返しの言葉が面白い」「この詩に出てくる生き物の気持ちが分かる」など、自分の気持ちと照らして理由を考える子供がいました。



どの子供も、自分の心と真剣に向き合って大切な三つの詩を選んだことが分かりました。詩集を作る際には、紙の色を選ぶ、イメージに合わせた絵を加える、もう一つ自分で作った一行詩を入れるなど、工夫して詩集を作りました。

出来上がった詩集は、友達同士で読み合って感想を書いた後、家の方にも見ていただきました。「どの詩も伝えたい気持ちが書かれているのが伝わったよ」「選んだ詩がいいね。お母さんも同じ気持ちだよ」などの温かいコメントを見て、子供たちも嬉しそうでした。



＜詩集を読み合う子供たち＞

